

塩の置き物をつくってみよう！

つくり方

1. ボウルに塩と水を混ぜ入れます。
(塩と水の割合は、右下の表を参考にしてね。)
2. 紙コップ(もしくは筒)に、1でつくった塩を数回に分けて入れます。このとき、わりばしなどの棒でつき固めながら入れるのがコツです。
3. 上からよくついて固め、そのまま3、4日置いておきます。
4. 塩が固まったら、静かに紙コップをはずします。
(はさみやカッターで紙コップを切れば、塩がくずれずにはずせるよ。)



5. そのまま、さらに10～15日ほど置いてよく乾かします。しっかり固まって、水分が出てこなくなったら、彫刻刀やナイフで好きな形に彫ります。ケガをしないように気をつけよう。

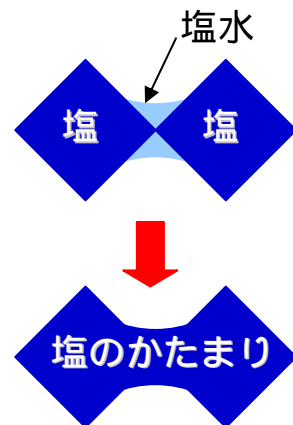


6. 最後に色をつけてできあがり！

紙コップのかわりに、お面やお菓子をつくる型などに塩をつめても楽しい作品ができるよ。

なぜ塩で置き物がつくれるの？

塩に水を加えると塩の表面は水に溶けます。これを型につめると、塩と塩とは濃い塩水でつながった状態になります。



この状態で、時間を置くと、濃い塩水の水分が蒸発して、濃い塩水に溶けていた塩が再び出てきます。

新しく出てきた塩は、塩と塩とをくっつけるため、大きな塩のかたまりになります。

こうした現象を利用して、塩の置き物をつくることができます。

【参考】

塩と水の量の割合	
塩の量	水の量
100g	約17cc
500g	85cc
1kg	170cc
2kg	340cc
3kg	510cc
4kg	680cc
5kg	850cc